

報道関係者各位
プレスリリース

2009年1月23日
ファルメディコ株式会社
代表取締役 狭間研至

=====
薬剤師あゆみの会との共催で、バイタルサイン講習会を開催
=====

大阪府下でハザマ薬局を8店舗展開するファルメディコ株式会社(本社 大阪市、代表取締役 医師、医学博士 狭間研至)は、地域医療制度を支える新しい薬局のあり方を「薬局3.0」と提唱し、実践しています。地域医療の現場で活躍できる薬剤師育成の一環として、1月18日に「薬剤師あゆみの会」と共催で、「アリセプトを適正にご使用いただくために」、「薬剤師が学ぶバイタルサインの意義」についての研修会を開催しました。

研修会のねらい

この勉強会の目的は、薬剤師として、薬剤の基本を学び、適正な使用方法であるかどうかを見極める目と、作用副作用の発言に注意して、患者を観察できる目を養うことです。

また、薬物療法の専門家として、患者の身体がどのような状態で、どのように変化していくのかを理解するためのツールとして、バイタルサインを把握することで、一歩近づけるものと考えます。薬剤師もコメディカルの一員である以上、血圧・体温・脈を測定できることで、患者の異常の早期発見につながるほか、医師・看護師との連携もスムーズになります。

バイタルサインの講習では、二人一組でお互いの脈を取り合ったり、血圧を計ったり、自分の心臓の音を聞くなど、実際にどのように聞こえるか、感じるかを体験しました。聴診器で初めて聞く脈や心臓の音に驚きながらも、真剣に講習を受けていました。

これらの作業は、一朝一夕で身に付くものではありませんが、今後も継続して、行なうことで、地域医療を支えるチーム医療を支える薬剤師の育成につなげたいと考えています。

ファルメディコ株式会社の概要

平成16年2月設立(創業 昭和51年12月)

薬局の運営、システム開発、WEB制作等を手がける。

代表 狭間研至が提唱する「薬局3.0」()の実現化に向け、

少子高齢化社会を支える新しい医療環境の創造に取り組んでいます。

薬局3.0

「薬局3.0」とは、第3世代薬局のことで、狭間研至が提唱する21世紀に求められる新しい薬局のあり方を指しています。

昭和の時代に数多く見られた町の小さな薬局を「薬局1.0」(第一世代薬局)、この15年で急速に広がった調剤薬局を「薬局2.0」(第二世代薬局)、従来の調剤業務に加え、「在宅・介護施設における医療支援」と漢方・サプリメント・健康食品等、「補完医療の供給」といった2つの機能を併せ持つ多機能型薬局を「薬局3.0」(第三世代薬局)と捉えています。

本件に関するメディアからのお問合せ先

ファルメディコ株式会社 ブランドマネジメント部 岩本

〒530-0041 大阪市北区天神橋1-9-5 山西屋・西孫ビル3F

TEL: 06-4801-9555 FAX: 06-4801-9556 e-mail: press@pharmedico.com

<http://www.pharmedico.com/>